

公益財団法人日本郵趣協会

2024年度事業計画

【基本となる考え方】

公益財団法人日本郵趣協会は、郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究（以下、「郵趣」という）を通して、郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承し、心豊かな潤いのある社会創造に寄与することを活動目的とする。2022年度から掲げてきた3つの基本方針、「郵趣の深耕」、「郵趣のダイバーシティ拡大」、「郵趣のバリアフリー化」を2024年度も継続し、さらに進化させる。

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な流行（以下、新型コロナ禍）により、世界中で、人が集まるイベントが制限されてきた。このような期間を4年余り過ごすことで、新型コロナウイルス感染症への社会として対応が確立されてきた。日本では、昨年、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法上で5類となり、イベントなどの制限が大幅に緩和された。新型コロナ禍中、日本郵趣協会では、郵趣家同士が直接合わずとも郵趣活動を続けてられるオンラインによる郵趣活動をさまざまな形で試行し、そのノウハウを蓄積した。ここで蓄積されたノウハウは、当初は新型コロナ禍での制限を乗り越える手段として活用したが、実際に行うと、遠方にいる郵趣仲間が容易にオンライン郵趣会で集うことが出来たり、海外の郵趣会に参加できたりと、従来の郵趣活動の壁を打ち破るものであることがわかってきた。新型コロナ流行前の2019年以前は、郵趣会は対面で行われるのが常識であった。一方で、2020年から2023年の新型コロナ禍では、オンラインによる郵趣会が一般的になってきた。2024年度は、コロナ禍前の郵趣活動ノウハウと、新型コロナ禍に蓄積した郵趣活動ノウハウを融合し、「郵趣のバリアフリー化」を次のフェーズに進める。これにより、昨年度に「深化」させた3つの方針を、今年度は「進化」させる。

郵趣はひとりでも楽しめる趣味だが、仲間と知識を分かち合い、お互いに必要なものを融通し合い、さらには交友を深めることで、さらに豊かで文化的な活動となる。日本郵趣協会では、このような郵趣仲間が集える催しを、上記のように、さらに進化させた形で推進する。そして、より多くの仲間を迎え入れるために、日本郵趣協会では「郵趣のダイバーシティ拡大」に力を入れていく。

日本郵趣協会の活動の根幹である「郵趣の深耕」についても、これまで以上に力を入れて推進する。会員個人や、研究会、支部活動での郵趣の研究活動は、『郵趣』や『郵趣研究』の雑誌やミニペックスで多くの郵趣仲間と共有し、議論を深め、その結果を、STAMP-SHOWやJAPEXのような全国切手展で紹介する。また、確立された郵趣知識は、『ビジュアル日専』を代表とする専門書にすることで、世界中の郵趣仲間が活用できる文化財として未来に残していく。

これらの事業を継承・発展させるためには、本年度も「会員力の増強」「財政の安定」の強化を図る。そのため、会員増強協議会を中心に「展覧会来場者促進&入会キャンペーン」を展開して郵趣を共に楽しむ仲間を増やしていく。特に、「郵趣のダイバーシティ拡大」で謳っている通り、さまざまな郵趣があることを理解し、幅広く仲間を募っていきたい。また、登録支部・団体制度により地域との連携を強化し、当協会の事業運営を支える正会員が各委員会に参画できる仕組み作りを推進していく。さらに、パートナー・サポート企業・団体との協働の輪を広げ事業収益の多角化を図るとともに、一人でも多くの会員に正会員や維持会員に移籍をお願いし、当協会の財政基盤を強化していく。公益事業資金への功績が顕著な個人、法人・団体には、感謝状等を贈呈する。このようなステークホルダーの理解を得るためにも、「郵趣のダイバーシティ拡大」は必須である。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出する。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

年間を通じて全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。特に4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)期間はキャンペーンを実施するとともに、多数開催の個人・団体を表彰する。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図る。

①STAMP-SHOW2024来場者促進キャンペーン

実施期間：2024年3月1日(金)～4月28日(日)

②JAPEX2024来場者促進キャンペーン

実施期間：2024年9月1日(日)～11月3日(祝・日)

(3) 切手ワークショップ

①切手ワークショップ「入門コース・作品コース」

会場は切手の博物館(豊島区)とし、最終回の[4月度]はSTAMP-SHOW2025(台東区)で開催する。[日程は予定]

[6月度] 内容：切手など郵趣品の集め方と整理の仕方、開催日：6月15日(土)

[9月度] 内容：マイリーフ作成ガイド、開催日：9月21日(土)

[11月度] 内容：マイリーフ作成実習①、開催日：11月16日(土)

[1月度] 内容：マイリーフ作成実習②、開催日：2025年1月18日(土)

[2月度] 内容：アルバムリーフ作成、開催日：2025年2月15日(土)

[4月度] 内容：アルバムリーフ展示と作品鑑賞、開催日：2025年4月26日(土)

②児童向け切手ワークショップ

小学校、児童施設などに出張して、児童を対象にした切手はり絵、水はがし体験、切手切り体験、世界の切手でしおり作り等を開催する。

開催日：随時、会場：区立給田小学校(世田谷区)、区立赤羽小学校(港区)他

(4) 月刊誌『郵趣』

郵便切手文化に関する幅広い情報の提供、郵便切手類及び郵便制度に関する文化的知見の普及を図るとともに、当協会の事業活動の報告等を行い、当協会への参加意識を高めるため、月刊誌『郵趣』を制作、頒布する。

(5) 郵趣入門ガイドブック

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した、郵趣入門ガイドブックの最新版及び新規ガイドを制作する。全国規模の展覧会及び地方本部主催の展覧会において配布するとともに、ホームページに掲載して普及啓発活動を展開する。

①「郵趣スタートガイド～初めて郵趣を楽しむ方に～」

- ②「郵趣リーフ作成ガイド～初めてのトピカル・リーフ作り～」
- ③「日本切手で始めるスタートガイド」
- ④「知って得する切手入手ガイド」
- ⑤「やさしい郵趣用語集」
- ⑥「トピカル郵趣 作品制作ガイド」
- ⑦「テーマティック郵趣 作品制作ガイド」
- ⑧「楽しく切手を集めよう！」
- ⑨「風景印などの郵頼方法ガイド」(新規制作)

(6) ホームページ、公式SNS

情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページ及び公式SNSに適時掲載し、幅広く社会一般に公開、提供する。また、Web会議「オンライン郵趣」を開催し、リアルとデジタルを連動させたハイブリッド型の普及促進を図る。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、功労者の顕彰、記念レセプションを開催する。

①全国郵趣大会2024in富山(第42回)

会期：9月28日(土)・29日(日)、会場：ホテルグランテラス富山(富山市)、企画運営：中部地方本部、富山支部

②全国郵趣大会2025in長崎(第43回)[準備作業]

会期：9月27日(土)・28日(日)、会場：ホテルセントヒル長崎(長崎市)、企画運営：九州・沖縄地方本部、長崎支部

(8) 切手のつどい

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①福山切手のつどい2024春

会期：5月6日(月・祝)、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

②岡山切手のつどい2024

会期：6月23日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

③防府切手のつどい2024夏

会期：7月28日(日)、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

④筑後地方切手のつどい2024

会期：8月25日(日)[予定]、会場：小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)[予定]、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑤福山切手のつどい2024夏

会期：8月25日(日)[予定]、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

⑥関西郵趣家のつどい2024(切手だいすき集まれ!!)

会期：11月16日(土)・17日(日)、会場：エディオンアリーナ[大阪府立体育会館](大阪市)[予定]、主催：関西地方本部

⑦防府切手のつどい2024冬

会期：2025年1月26日(日)[予定]、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU] (山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑧北九州切手のつどい2025

会期：2025年2月[予定]、会場：西日本総合展示場本館(福岡県北九州市)、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部

⑨広島切手のつどい2025

会期：2025年2月23日、会場：広島教育会館ホテルチューリッヒ東方2001(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。また、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図る。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり STAMP-SHOW2024

企画展示「能登半島地震復興支援切手展」、「パリ五輪2024『100年前のパリ』」、「宝塚110周年展」、の開催、フリースタイル切手展2024、第25回トピカル切手展の出品物を公募する。また、パートナー・サポート企業・団体と協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図る。

会期：4月26日(金)～4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、町田酒造(株)、ロック製菓(株) [以上予定]、協力：切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合 [以上予定]

②第59回全国切手展(略称:JAPEX2024)

企画出品「菊切手発行125年」、「2025年日韓国交正常化60周年記念 韓国切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争出品を公募する。併せて、公式ガイドブック等を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開する。

会期：11月1日(金)～11月3日(祝・日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、駐日本国大韓民国大使館、産経新聞社、東京新聞、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、町田酒造(株) [以上予定]、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合 [以上予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①STAMP-SHOW in高松2024

会期：4月27日(土)・28日(日)、会場：アイパル香川(香川県高松市)、主催：中国・四国地方本部、高松支部

②STAMP-SHOW in広島2024

会期：5月11日(土)・12日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、主催：中国・四国地方本部、STAMP-SHOW in広島実行委員会

③STAMP-SHOW in横浜2024

会期：5月18日(土)・19日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、主催：関東地方本部、横浜支部、相模原支部、湘南郵趣の会

④STAMP-SHOW inくだまつ2024

会期：6月15日(土)・16日(日)、会場：スターピアくだまつ[下松市文化健康センター](山口県下松市)、
主催：中国・四国地方本部、周南支部

⑤関西STAMP-SHOW2024

会期：7月27日(土)・28日(日)、会場：大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMM](大阪市)、主催：
関西地方本部

⑥彩PEX2024

会期：9月14日(土)・15日(日)、会場：ウエスタ川越(埼玉県川越市)、主催：関東地方本部、川越支部

⑦中部STAMP-SHOW in富山2024

会期：9月28日(土)・29日(日)、会場：ホテルグランテラス富山(富山県富山市)、主催：中部地方本部、
富山支部

⑧STAMP-SHOW inかごしま2024

会期：10月5日(土)・6日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児
島支部

⑨STAMP-SHOW inはかた2024(併設：第42回全九州ジュニア切手展)

会期：10月19日(土)・20日(日)[予定]、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、主催：九州・
沖縄地方本部、福岡支部

⑩大阪春の切手展2025in京セラドーム大阪

会期：2025年3月[予定]、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、主催：関西地方本部

(3) 展覧会への出品促進

- ①フリースタイル切手展及びトピカル切手展の応募ガイドの配布
- ②JAPEXルールブック(応募の手引き)の配布
- ③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施
- ④クリティークの実施

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審
査員の育成を図る。また、審査実務に関する郵趣セミナーを開催するとともに、世界の展覧会の潮流と審
査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、郵便切手類に関するデータ並びに
郵便制度に関する研究を基に、各種出版物の発行及び監修を行う。

(1) 定期刊行物の発行

- ①週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊／50回発行
- ②郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊／6回発行
- ③WEB版『世界新切手ニュース』月刊／12回配信
- ④WEB版『郵趣ウィークリー』週刊／50回配信
- ⑤WEB版『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊／6回配信

(2) 切手カタログの監修

- ①『さくら日本切手カタログ2025』
- ②『ビジュアル日専 記念特殊切手編 1952-1966』

4. 学術調査研究事業

郵便切手文化に関する研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催する。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会発足を促進するため、主として切手の博物館(豊島区)において月例会を開催する。また、オンライン月例会を開催し、全国の専門収集家との交流、研究成果の共有に努める。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開する。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施する。[研究発表名は予定]

①第37回昆虫切手展

会期：6月1日(土)・2日(日)、研究発表：昆虫切手研究会

②イギリス切手研究会切手展2024

会期：6月8日(土)・9日(日)、研究発表：イギリス切手研究会

③第13回世界の植物切手展

会期：6月28日(金)～6月30日(日)、研究発表：植物切手研究会

④アメリカ切手展2024 america'24

会期：7月5日(金)～7月7日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

⑤JPS航空郵趣研究会創立30周年記念展 AEROPEX2024

会期：9月28日(土)・29日(日)、研究発表：航空郵趣研究会

⑥音楽切手展

会期：10月5日(土)・6日(日)、研究発表：音楽切手研究会

⑦東海道新幹線開業60周年記念 Railpex2024

会期：10月26日(土)・27日(日)、研究発表：鉄道郵趣研究会

⑧第21回絵画切手展

会期：11月9日(土)・10日(日)、研究発表：絵画切手研究会

⑨第21回震災切手と震災郵趣展

会期：11月22日(金)～11月24日(日)、研究発表：震災郵趣研究会

⑩第22回ドイツ切手展 Germania2025

会期：2025年1月25日(土)・26日(日)、研究発表：ドイツ切手研究会

⑪第9回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：2025年1月31日(金)～2月2日(日)、研究発表：関東郵趣サロン研究会

⑫第16回テーマティック研究会切手展2025

会期：2025年3月1日(土)・2日(日)、研究発表：テーマティック研究会

⑬パソコン郵趣切手展2025

会期：2025年3月8日(土)・9日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会

⑭菊・田沢MINIPEX2025

会期：2025年3月14日(金)～3月16日(日)、研究発表：菊・田沢切手研究会

⑮第17回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：2025年3月29日(土)・30日(日)、研究発表：聴覚障害者切手研究会

(3) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、その知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催し、その学術事例を出版物等を活用して発表・公開する。

(4) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の多様な形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人が参加できる機会を創出する。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進する。

①国際切手展「EFIRO 2024」への出品促進

会期：4月16日(火)～4月19日(金)、会場：ルーマニア国立図書館展示場(ルーマニア・ブカレスト)

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

海外郵政機関の協力を得て、文化イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努める。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するため、情報の集積・注意喚起を進める。郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

(2) 展示即売会

郵便切手類の需要開拓と供給を図る展示即売会を通して、多様な市民が公平に郵便切手類を再活用できる基盤と公共的インフラを支援する。全国切手展・地方本部主催イベントなどと連携開催し、郵趣品の公正な流通と、集客を含む市場の活性化、流通網の拡充を図る。年間5回程度開催を予定。

①世界切手まつり STAMP-SHOW2024

会期：4月26日(金)～4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第134回切手バザール

会期：7月13日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③全国郵趣大会2024in富山

会期：9月28日(土)・29日(日)、会場：ホテルグランテラス富山(富山市)

④第59回全国切手展JAPEX2024

会期：11月1日(金)～11月3日(日・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第137回切手バザール

会期：2025年2月22日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者（個人及び団体）を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

- ①第45回中島健蔵・水原明窗記念賞
- ②国際大賞（トレーシー・ウッドワード記念賞）
- ③第44回郵趣活動賞（個人部門、団体部門）
- ④第44回郵趣文献賞
- ⑤第41回小倉謙賞
- ⑥第39回住野正顕賞
- ⑦第4回手嶋康賞
- ⑧登録支部・団体50周年特別表彰

(2) 授賞式

選考結果は月刊誌『郵趣』及び当協会ホームページにおいて公開するとともに、授賞式は公開で実施する。

8. 社会貢献・地域支援事業

パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行うとともに、登録支部・団体及び公益活動への支援を行い、ボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2024」

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2024

作品発表会：8月25日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

- ②タイムカプセル郵便(保管及び差出)
- ③『Letter Park』、切手デザイナーとの連携
- ④「切手の博物館」手紙プロジェクトとの連携
- ⑤使用済み切手の募集

(2) 登録支部・団体への支援

- ①研究発表の支援及び広報協力
- ②展覧会及び切手教室への助成

(3) ボランティアの醸成

- ①郵趣のための押印講習会（技能認定制度）
- ②展覧会運営ボランティアの公募

(4) 公益活動への支援

- ①第74回全日本切手展2024、会期：7月13日(土)～7月15日(月・祝) [予定]、[主催：全日本切手展実行委員会]
- ②STAMPEX JAPAN2025、会期：2025年3月[予定]、[主催：(公財)通信文化協会、(特非)郵趣振興協会]
- ③第28回目白ロードレース、会期：2025年3月[予定]、[主催：目白ロードレース実行委員会]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、幅広く多くの方々から寄付を募るとともに、益金は広く社会一般に還元する事業のために充当する。

- (1) 財政安定化寄附金(一般寄附金)
- (2) STAMP-SHOW2024寄附金(特別寄附金)
- (3) JAPEX2024寄附金(特別寄附金)
- (4) STAMP-SHOW2025寄附金(特別寄附金)
- (5) 特別寄附金の表彰制度(特別表彰、マルチプル表彰、メジャードナー表彰)

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業を紹介した入会案内リーフレットを制作して、新規会員獲得に向けたキャンペーン施策を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供する。

①春の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン(さくら日本切手カタログ、STAMP-SHOW)

②秋の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン(JAPEX)

③ご移籍のお願いキャンペーン(普通会員から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い)

④『正会員会報』月刊/12回発行

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを強化する。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2025

会期：2025年1月11日(土)(予定)、会場：未定、主催：関東地方本部

②大阪・新春交歓会2025

会期：2025年1月13日(月・祝)、会場：大阪キャッスルホテル(大阪市)[予定]、主催：関西地方本部

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2024in盛岡

会期：6月8日(土)・9日(日)、会場：ホテルニューカリーナ(盛岡市)、主催：北海道・東北地方本部、盛岡支部

②関東郵趣大会2024in藤沢

会期：6月9日(日)、会場：藤沢市民会館(神奈川県藤沢市)、主催：関東地方本部、湘南郵趣の会

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。